

教科（科目）	技術家庭	学年（系）	1年
使用教科書	新しい技術・家庭（教育図書）		
副教材等	技術・家庭ノート 技術分野(新学社) 技術・家庭ノート 家庭分野(新学社)		

## 1 学習目標

生活の営みに係る見方・考え方や技術の見方・考え方を働かせ、生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
- (2) 生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を養う。
- (3) よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

## 2 指導の重点

自分から家族、家族から地域へと段階的に視野を広げ、自分や家族のために進んでよりよい生活を工夫していくことができる。自分の生活を見つめ直し、生活の自立を目指す技能を育成する。

## 3 指導計画

月	単元名	教材	学習活動(指導内容)	時間	備考
4	家族・家庭とのかかわり	家族とのかかわりについてのロールプレイングを実施。 (創意工夫)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中学（前期課程）3年間の学習の見通しを立てるためのガイダンス</li> <li>・ 家族・家庭とその機能</li> <li>・ 家族や地域とのかかわり方</li> </ul>	8	
5 ～ 10	衣生活と自立 住生活と自立	文化祭の作品を制作	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 衣服の役割</li> <li>・ 個性やT.P.Oに応じた衣服のコーディネート</li> <li>・ 洋服と和服の違い</li> <li>・ 衣服の手入れ・補習</li> <li>・ 衣服の目的に応じた活用</li> <li>・ 住まいの役割</li> <li>・ 安全で快適に過ごすための住まいの工夫</li> <li>・ 布を用いた、生活に役立つものの製作</li> </ul>	26	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 作品提出（技能 / 創意工夫）</li> <li>・ 前期期末考査（知識理解）</li> <li>・ 文化祭 木工作品（本立て）展示（技能 / 創意工夫）</li> </ul>
11 ～ 3	木工	木工作品の制作（本立て）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ さまざまな材料の特徴やその活用</li> <li>・ 製品を丈夫にする構造や工夫</li> <li>・ 木材を用いた木工作品の製作</li> <li>・ 作品製作に向けての立体の表し方、構造図（製図）</li> <li>・ 木材加工</li> <li>・ 工具の使い方</li> </ul>	26	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 後期期末考査（知識理解）</li> <li>・ 作品提出（技能 / 創意工夫）</li> </ul>

#### 4 課題・提出物等

- ・作品の提出があり、提出作品で評価を行います。また、文化祭では展示も実施します。
- ・定期考査で知識理解を確認します。

#### 5 評価方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	評価基準
生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けている。	生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し実践しようとしている。	<評定> 各観点の合計点 達成率 5…80%以上 4…70%以上 3…50%以上 2…40%以上 1…40%未満
以上の観点を踏まえ、以下の項目から、総合的に評価する。 ・授業の参加態度、作品作りの進捗 ・授業ごとの提出物、忘れ物、自己評価 ・作品のデザイン、作る上での工夫、プリントの書き方 ・練習課題も含め作品 ・テストの点数			

#### 6 担当者からの一言

衣食住に関する実践的・体験的な学習活動から、生活に必要な基本的な知識及び技術の習得を目指します。その過程で、家庭の機能について理解を深め、これからの生活をよりよくしようとする力を育成していきます。